

令和2年度木材使用量実績（森林再生課 木材使用量実績調査） 別紙1

調査期間：令和3年6月30日～令和3年9月30日

令和2年度の木材使用量は、建築（造作材）を除き、森林整備の分野を中心に各分野とも増加となりました。総量としては対前年152%の1395.0³mとなりました。（令和元年度917.6³m）

県産木材使用量については、建築（造作材）で半減しましたが、森林土木分野で増加し、対前年122.7%の798.9³mとなり、昨年度を上回る水準となりました。しかし、木材使用量全体に占める県産木材使用割合は57.3%と平成25年度以降最低となりました。（令和元年度650.9³m、70.9%）

①用途別・産地別 内訳 （単位：m³）

	県産木材	他県材	外材	不明	合計	用途別比率
1 土木	0.0	40.3	7.9	0.0	48.2	3.5%
2 公園	1.3	140.7	0.0	36.5	178.5	12.8%
3 建築（構造材）	5.1	2.8	0.4	0.1	8.4	0.6%
4 建築（造作材）	67.3	1.6	117.0	30.9	216.8	15.5%
5 森林整備	664.2	0.0	0.0	51.0	715.2	51.3%
6 森林土木	59.5	7.0	0.0	134.8	201.3	14.4%
7 その他	1.5	0.0	0.1	25.0	26.6	1.9%
総計	798.9	192.5	125.4	278.3	1,395.0	100.0%
産地別比率	57.3%	13.8%	9.0%	19.9%	100.0%	

②樹種別・産地別 内訳 （単位：m³）

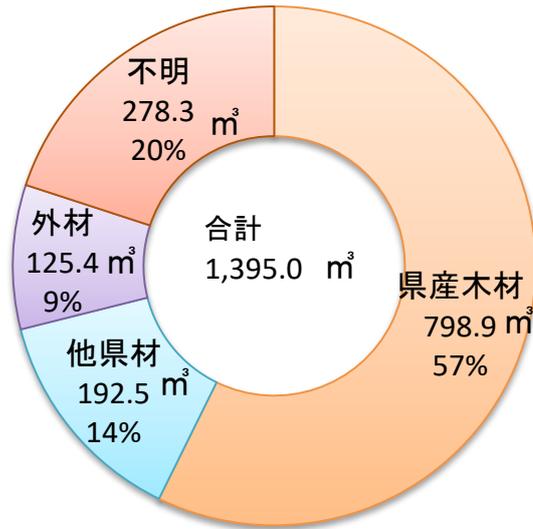
	県産木材	他県材	外材	不明	合計	樹種別比率
1 スギ	70.6	43.3	0.0	35.7	149.6	10.7%
2 ヒノキ	3.3	0.0	0.0	1.9	5.2	0.4%
3 スギ・ヒノキ	723.4	149.1	0.0	3.1	875.6	62.8%
4 その他針葉樹	0.0	0.0	115.6	16.2	131.8	9.4%
5 広葉樹	0.0	0.1	9.0	0.7	9.8	0.7%
6 不明	1.6	0.0	0.8	220.7	223.1	16.0%
総計	798.9	192.5	125.4	278.3	1,395.0	100.0%
産地別比率	57.3%	13.8%	9.0%	19.9%	100.0%	

③加工区分別 （単位：m³）

	樹皮付丸太	製材	防腐処理材	その他	合計	用途別比率
1 土木	0.0	48.2	0.0	0.0	48.2	3.5%
2 公園	0.0	2.5	176.0	0.0	178.5	12.8%
3 建築（構造材）	0.0	5.6	2.8	0.0	8.4	0.6%
4 建築（造作材）	0.0	198.7	0.0	18.1	216.8	15.5%
5 森林整備	466.3	248.9	0.0	0.0	715.2	51.3%
6 森林土木	35.8	25.8	8.6	131.1	201.3	14.4%
7 その他	1.5	24.5	0.5	0.1	26.6	1.9%
総計	503.6	554.1	188.0	149.3	1,395.0	100.0%
加工別比率	36.1%	39.7%	13.5%	10.7%	100.0%	

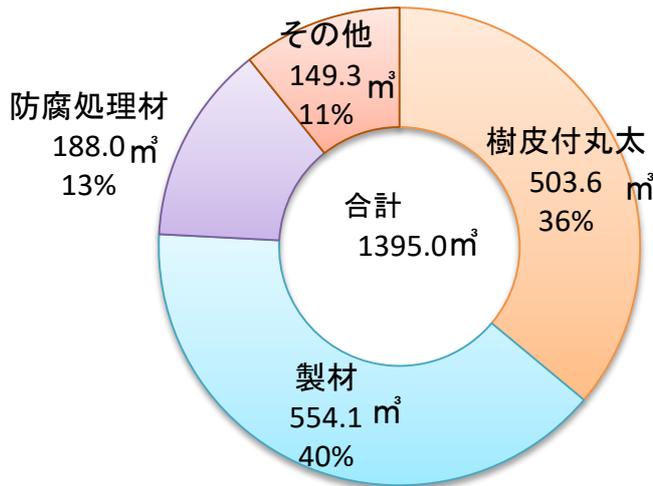
※県産木材：現地発生材と県産認証材の合計値

①木材使用量(産地別)



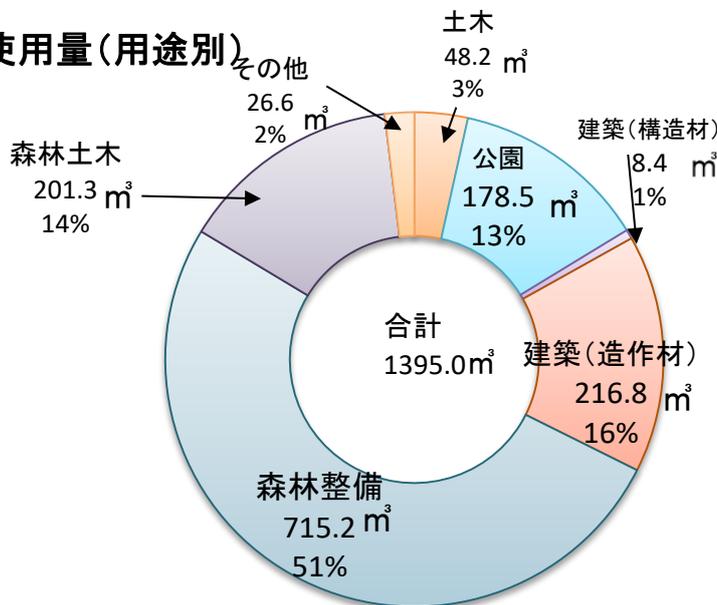
- 県産木材
- 他県材
- 外材
- 不明

②木材使用量(加工区分別)



- 樹皮付丸太
- 製材
- 防腐処理材
- その他

③木材使用量(用途別)



- 土木
- 公園
- 建築(構造材)
- 建築(造作材)
- 森林整備
- 森林土木
- その他